

2018年11月30日(金)

未来への扉

高等特別支援学校支援部 113号



失敗は成功のもと？

2 学年 学年支援部 S. A

この間「あ～夏休みが終わってしまう・・・」と思っていたのに、気づいたら修学旅行も終わり、体育大会を経て2週間の現場実習も終了しました。来週からはもう12月。瞬く間に気温も低くなり、また三田の寒い冬がやってきます。高等特別支援学校での1年は、時の流れがとても早く感じます。

そんな慌ただしい日々の中、調理の授業でこんなことがありました。

その日のメニューは「三色そばろ丼、お味噌汁、梨」3人で「炒り卵」「肉」「お味噌汁」と担当を分担して取り組んでいました。卵と肉にはそれぞれ違った種類・分量の調味料がレシピに書かれています。卵担当のAくんは手早く卵を割って、レシピに書かれた調味料と合わせながら、「こんなに入れんの？」とつぶやいていました。

肉担当の生徒が調理を終え、コンロを交代しようとしたとき、Aくんはもう一度レシピをじっと見つめ、考えていました。そして少しの間をおいて、「みんな、ごめん。調味料間違えた」と班員に言いました。Aくんは間違っただけで肉の調味料を卵に入れてしまっていました。

私は彼の様子を見て、途中で間違っただけなのに気づいていましたが、Aくんがどうするのか見ていました。するとAくんは意を決して「みんなごめん。調味料間違っただけで肉の調味料を卵に入れてしまった」と班のみんなにきち

んと聞こえる声で言いました。それを聞いた班員は「しゃあないな」と言ったものの、誰もAくんを責めることはしませんでした。

そのやりとりを見て、私はとても嬉しくなりました。

Aくんの報告がなければ、そのままそれを試食しようと思っていました。間違った調味料でも、きっと卵は少し濃い色と味がするだけで、ひどい味にはならなかったはずです。もしかしたら言われなければ「こんなものだ」と思ったかもしれません。でもAくんは自分のミスを認めてきちんと報告し、謝罪しました。その時はたまたま余分に卵があり、Aくんの報告によりもう一度炒り卵を作りなおし、おいしく試食することができました。

「自分のミスを認めること」も、「正直に報告すること」も、そんなに簡単なことではありません。しかしそれは、仕事をする上ではとても重要なことです。自分がミスをして報告しなければ周囲に迷惑がかかることを認識できたとき、きっと正しく報告することができるようになるのだと思います。

日々の生活の中で失敗することはたくさんあり、落ち込むことも後悔することもあります。修正するときには失敗の原因を反省し、方法や欠点を改めなければなりません。また、修正するためにはまず自分の失敗を認めるということが必要不可欠です。失敗を隠しているうちは、本当に自分の力にはなりません。

卒業後、様々な経験をしていく中で、自分で対処していかなければならなくなった時、失敗した時の経験が役に立つことが出てくることだと思います。失敗することをマイナスのことばかりととらえずに、よりよい行動をすることができるようになるチャンスだと思って、自分の糧にしていってほしいと思います。



うちの先生♪ S. A先生

＜◆ゴシック、(ゴシック)はレポーターY＞



☆進路指導部のS. A先生にお話しを聞いてみました～☆

◆趣味や好きなものはなんですか？

動物が好きで、子どものころは池田動物園と姫路セントラルパークによく連れて行ってもらいました。(池田動物園って?)岡山市にあるんですよ。私、岡山県美作市の出身なんです。(今度、美作の魅力も教えてくださいね。)はい、聞いてください☺(それでは動物好きの話の続きを...)実は動物の中でも犬が大好きで、幼い時に『いぬのずかん』を何回も見て1冊丸ごと覚えてしまいました。犬マニアなことは隠しています(笑)今は“はく製”が好きで、「つやま自然のふしぎ館」には1年に1回は行きます。ここで好きなのは白くまとゾウアザラシで3mを超える大きさで、動きもとてもリアルに展示してあるんですよ!ヘラジカは鹿の仲間でも最大級なんですよ!

(「好き」が伝わってきます!ヘラジカがどのくらい大きいのか知りたい人は塩見先生に聞いてみてください☺)そうそうその頃は獣医になりたいと思っていました。

◆子ども時代の思い出深い話が他にもあるんですって…

そうなんです!小3からソフトボールチームに入ったんですけどね、一緒にコーチを始めた父が、途中から監督になって、小5の時には「ピッチャーをやらんか?」と言ってきて…(腕が長いので向いていたんでしょうね)それが、父がとにかく熱血漢で、2年間、毎日ピッチングの練習ですよ!雨の日も雪の日も…、泣きながらやった日もありましたよ。(それはすごいですね!)あの時が『人生で一番頑張った』と言えると思います。おかげでメンタルも鍛えられたので今は感謝しています(苦笑)

◆教科は英語ですよ。

英語や海外にまつわるお話を聞かせてください。

大学時代にオーストラリアに1ヵ月間ホームステイをしたんですが、料理好きのおばあさんが毎日たっぷりのバターを使ったお肉料理を作ってくれたので10kg太りました~!それから3kgだけは減りましたが…。(身についたのは英語だけではなかったんですね…(^_^;)そして初めは英語を生かした別の仕事も考えていましたが、介護等体験実習に行かせてもらって“先生になりたい”という気持ちが強まり、今この場にいることができています。(2日間の出会いが今につながったんですね☆)